
元神魔王リリカルなのは外伝《デルタソウルダイバーズ》Episode 4 生誕

パワード・マウンテン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

元神魔王リリカルなのは外伝 デルタソウルタイパーズ Episode 4 生誕

【Nコード】

N4550X

【作者名】

パスワード・マウンテン

【あらすじ】

人は生きる、人は探す、人は歩む。

そして、次の世代に残し死んでいく。

それを成長と、言う人もいる。

しかし、これは生死の輪廻から外れし者達の物語。

だから、そこに道は無い未知も無い。

進化を止めた生物に生きる価値は、はたしてあるのだろうか……？

Episode 4：ストーリー1【自分と自身のユメ】

広い空間

ギギギギ

ミヤ

「また、ここか……。」

フム

ルシファー

「これはこれは、私か……。」

フウ……。

ミヤ

「オレか……。」

オイオイ

ルシファー

「自分自身だろ？何でそこまで……。」

さあ？

ミヤ

「何でかな？オレなのに……。」

何処か嫌いだ！と……。

ミヤ

「そつだ！」

フフフ……。

ルシファー

「流石“オレ”だな？」

ゴォーン、ゴォーン、ゴォーン……。

ミヤ

「お？もう時間か……。」

オイオイ

ルシファー

「コンビニじゃないんだぜ？」

ゴーン、ゴーン、ゴーン……。

記憶だろ？

ああ……。

ゴーン、ゴーン、ゴーン……。

ロストピースだ……。

Episode 4：ストーリー2【閃光のアグスタ】

ホテル・アグスタ前

ドシューウウウウウウ！！

くっ……！

ミヤ

「コイツは、カラドボルク？……！いや違う！！」

チッ！

ローラ・レイアス！！

ガキイイイイイイイイイン！！

ギョルギョルギョルギョルギョルギョルギョルギョルギョル

ミヤ

「何だ！？普通の三倍デカイ！！」

グググググググ………！

ミヤ

「くっ！持ってくれ！アイアス2乗！！」

バキィンバキィン！

スバル

「ミヤ！！」

くっ………！

ミヤ

「来るな！！」

ティアナ

「でも、兄さん！！」

バサッバサッバサッ

「さ、さっさとどこかに行け!!
コイツが!コイツがコピ―なら!!」

キイイイイイン……。

スバル

「あ!？」

ティアナ

「まさか!!」

キャロ――――!!

キャロ

「は、はい!」

エリオ

「ほら!二人とも!!」

で!

スバル

「でも!」

フフッ

ミヤ

「安心しろ!こんな事で死ぬ……。」
と、言うか死まくりのミヤくんはな……!」

ティアナ

「……………スバル。」

スバル

「……………」

くっ……!

バサッバサッバサッ……。

フウ……。

ミヤ

「行ったか……。」

バキバキバキン!!

ミヤ

「何てそうこう、してるうちに14も有ったレイアスが6枚に……。」

「

ギイイイイイイ!!

フウ……。

ミヤ

「ヤッパ、ブローケン・ファンタズムか……。」

しかし

ミヤ

「前にも似たシュチュエーション、あったな……。」

何てな？

ナージャー

「この、“ビッグカラドボルク？”を止めるとはな……。流石、私の兄弟の事だけはある。」

確か……。

ウーノ

「太くて、固くて、デカイやつ！！が、売り文句でしたね？」

そう！！

ナージャー

「そして、このルナデルタクロスの中にある。

“チャージF・テイル”で、強化し天羽々弓で射出する事により……！！」

バサアアアアアアア！！

ナージャー

「はじめて使用可能になるのだ！！」

Episode 4：ストーリー4【悪魔王と堕天神のタイジ】

ホテル・アグスタ、数キロ先

勝利を確信した時……。

ウーノ

「どうしました？ドクター……。」

ナージャー

「……………」。

ドクン！

ナージャー

「フツ」

ザリチエ・タルウィ！トレース・オン！！

カシャン！！

ゴォッ！

ナージャー

「はあああああ！！」

ガキヤアアアアン！！

ドクター！？

ミヤ

「……………」

ギ、ギギギ……。

ナージャー

「お前が“ルシファー”か？」

ギギ……。

ミヤ

「そつ言お前は、“サタン”か！！」

ククク

ナージャー

「戦闘スタイルが、似ているからな？」

ミヤ

「解ると？」

ハハハ

ナージャー

「そうだよ。」

しかし、アノ爆発で………。」

ギャリン！！

ミヤ

「残念ながら、アレはマグレだ………。」

チラッ

両腕で発生させるロー・アイアス

ローラ・レイアス

ズキッ！

ミヤ

「くっ……！」

くははははは〜

ナージャー

「だろうな？両腕、まだ痛いかな？」

チッ！

ミヤ

「腕が焼けただれ、使いもんにならなくても……。」

ならなくても……？

ザッ！

テーマ程度は、ぶっ倒せる！！

Episode 4：ストーリー5【前日のキドウロツカニテ】

過去の機動六課、食堂

ホテル・アグスタ警備、ねえ……。

なのは

「私とフェイトちゃん、そしてはやてちゃんは……。」

ミヤ

「中でお仕事だろ？」

うん！

プシュー

個室

フウ……。

ギシッ

ミヤ

「……………」。

警備、ね……………」。

ゴロ

ミヤ

「……………」。

フウ……………」。

考えてもしようがない

ミヤ

「寝るか。」

カチッ

すーはー

ミヤ

「……………」。

むにゃ

ミヤ

（ね…………む…………く。）

ゴォーン、ゴォーン、ゴォーン…………。

鐘また、鐘の音が…………。

ゴォーン、ゴォーン、ゴォーン…………。

聞こえる

Episode 4：ストーリー6【清い愛のユメ】

雪国の大地

ビュオオオオオオオオオオオ……………。

個室

ルシファー

「ふあゝ……………」

むにゃむにゃ

大丈夫？

ん？

ルシファー

「ああ……………大丈夫さ。」

オレか？

スッ

無理は……。

ルシファー

「ああ解ってる……。

“ガブリエル”……。」

ガブリエル

「フフッ、ルシファーくん。」

コイツは……なのは？

ルシファー

「はぁ……くん、ずけって……。」

え……

カッン

フフッ

ルシファー

「“サンダルフォン”か？」

ユーノか？

サンダルフォン

「別にいいじゃないか？」

スッ

ルシファー

「そして、“メタトロン”。」

そして、クロノ。

メタトロン

「まあ……二人が結婚する事に……なるとはな？」

ガブリエル

「あー！サンダルフォンくん！メタトロンくん！！」

フッ

ルシファー

「さっさとお前も結婚しろよ……。」

サンダルフォン何か……。

なんと！ベールウルフ姉さんと！？だぜ？」

う、うるさい！！

フウ……。

ルシファー

「しかし。」

チラッ

サンダルフォン

「な、なんだい？」

こんなにも

ルシファー

「へっぴり腰の野郎が、オレの兄か……。」

な！？

サンダルフォン

「君にそこまで……！」

ま、まあまあ……。

ガブリエル

「ルシファーくんも、落ち着いて……。」

ガブリエルも！

ルシファー

「こんなにも、情けないのが兄貴だぜ！？」

え？

ガブリエル

「……………」。

じ
じ
じ
じ
じ

サンダルフォン

「ガ、ガブリエル？」

じ
じ
じ
じ
じ

ガブリエル

「うん……………」。

な！？

ルシファ―

「だろ？な……………メタトロン……………」。

ボ！？

メタトロン

「ボクに、振らないでくれ！！」

サンダルフォン……。

にま〜〜〜〜

ルシファー

「勝ったな？」

う……ぐず……。

サンダルフォン

「うああああん！義弟の反抗期だあああああ〜〜！！！」

タッタッタッタ……。

あゝあ

ガブリエル

「し〜らないっ！」

ルシファー……。

メタトロン

「後でちゃんと謝っておけよ？」

あゝはいはい！

ルシファ―

「わゝりましたよっ！」「！」

ルシファー
「……………」

ガチャ

ルシファー？

ルシファー

「ベーオウルフ姉さん？」

だから！

ルシファー

「あーはいはい、ウルフ姉さん。」

ウルフ

「もう！-！」

むにゃむにゃ

ウルフ

「どうしたの？」

うん……。

ルシファー

「最近疲れが……。」

はあ……。

ウルフ

「だからね？お姉ちゃんは、止めとけ……って。」

だ……て……。

ルシファー

「サンダルフォンやメタトロン、サタンが……。」

はいはい

ウルフ

「言い訳は、後々……！」

へいへ〜〜〜い

ルシファー

「今日は、ガブリエルとの〜……。」「

ドクン！

違うだろ〜！！

え？

ルシファー

「姉さん、何か言った？」

ううん？

ウルフ

「ルシファーさ〜昨日飲みすぎ〜！！」

う〜ん……？

ルシファー

「ヤッパ飲みすぎ？」

ドクン！

お前は無限に死を生みだし……。

ドクン！

生を零へと還して……。

だあああああああああああああああ……！

ルシファー

「何だデメー……！！」

ビクッ！！

ウルフ

「ル、ルシファー……？」

あ……！

ルシファー

「な、何でも……ごめんなさい。」

うん……。

ウルフ

「コレから式なのに、大丈夫？」

あ……。

ルシファー

「だ、大丈夫さ……！！」

ふん？

ルシファー

「ナ、ナニ？」

ま！

ウルフ

「別にいいけど……。」

ああ……。

ルシファー

「あいよ！解ってるさー！」

うん！

ウルフ

「よろしい！……じゃ先、行ってるね？」

ギギイイイイ……。

うん！

ルシファー

「解ったよ姉さんー！」

ボタン！！

さゝて

ルシファー

「主人公がいなきゃ、話になんね〜」……。」

行くか！！

バッ！

ゴォーン、ゴォーン、ゴォーン……。

ヒヤッハー！！

ギギイイイイイ……。

ゴォーン、ゴォーン、ゴォーン……。

流石“オレさま”！解ってるね〜」……。

ボタン！！

元神魔王リリカルなのは外伝

《デルタソウルダイバース》

Episode 4 生誕

Episode 4：ストーリー8【遅刻のメザメ】

過去の機動六課、個室

ゼフィランサスロストピース

『メモリーの再生が終わりました。』

ピピッ

ねえねえ！つてば〜……。

ユサユサ！

ミヤ

「う、うん……結婚式……。 」

もうー！

日向

「皆行っちゃったよ？早くしないとー！ー！ 」

アレ？

ミヤ

「ベーオウルフ姉さん？」

はあ……。

日向

「バカ言っでないで！

わたし……行く所があるから！！」

じゃあね？

プシュー

あ……。

ミヤ

「行っちゃった。」

うん……。

ミヤ
「アレ？」

皆“行っちゃった”？

あ！？

ミヤ
「やべ～～～！！」

ガバツ！！

完全に遅刻だああああああああああ！！！！！！

ギイイイイイイ……。

ドカン！！

リボルバーナックル！！

ガシャン！

はあああああ！！

ドゴオン！！

ティアナ

「そっちは！？」

ザッ！

スバル

「今ので20！しかし……。」

ペシ

スバル

「多すぎー!」

29 発のフルンディング……。

ハッ!

スバル

「あ! コノ声!」

って!?

ティアナ

「ナニあれ!」

ゴゴゴゴゴゴ……。

スバル

ティアナ
「げ!?!」

ドカン! ドカン! ドカン! ドカン! ドカン! ドカン! ドカン!
ン! ドカン! ドカン! ドカン! ドカン! ドカン! ドカン! ドカン!
ドカン! ドカン! ドカン! ドカン! ドカン! ドカン!

スバル

「うひゃあああ~~~~~!?!」

ゴオオオオオオオオ.....。

ホテル前、木の上

ミヤ

「もう、あがく必要はない.....。」

ザッ

もう!!

ティアナ

「兄さん危ない！遅い上に遅刻！！
何で木の上に立ってるの！格好つけてるし！！！」

あらら……。

ミヤ

「コレでも……って、何だけどな……。」

Episode 4: ストーリー10【そして、現在のジカンへ】

過去ホテル・アグスタ前、木の上

とにかく！

ティアナ

「ソコから降りてー!!」

はいはい

ミヤ

「はあ……前にも、デジャブ?」

バツ！

数キロ先

ククク

ウーノ

「嬉しそうですね？ドクター……。」

ああ！！

ナージャー

「ようやく！我々の出番だからなあ！！
物語には、主人公だけではダメだ……。」

そして！！

バサアアアアアアア！！

トレース・オン！！

カシャン！！

更に！

ナージャー

「カラドボルク？にF・テイルで、私がチャージ！！」

ギィィィィィィン！！

ウーノ

「くっ……！コレがF・テイル……！！」

ゴォッ！

ナージャー

「さあ！暗黒の彼方に消え去れ！！」

ビッグカラドボルク？……。

ギギ……。

バッド・エンド・ショット！！

ドシューウウウウウ！！

アグスタ前

もう少し

ティアナ

「早く起きてよね？兄さん……。
つて！ちゃんと聞いて！！」

ふああ……。

ミヤ

「ふあゝい。」

むにゃむにゃ

キラン！

スバル

「うん？」

じ~~~~~

スバル

「うん……。 」

ねえ！

ミヤ

「あ〜ん？」

ティアナ

「何！！」

あれ

スバル

「何かな〜……。」

むむ？

ティアナ

「う〜ん、見ずらい……。」

じ〜〜〜〜

ミヤ

「……。」

じ~~~~~

……ウウウウウウ！

な！？

ドシュウウウウウウ！

くっ……！

ミヤ

「コイツは、カラドボルク？……！いや違う！！」

チッ！

ローラ・レイアス！！

Episode 4：ストーリー11【数キロ先のダイチニテ】

現在ホテル・アグスタ、数キロ先

フムフム

ナージャー

「詰まりの事、“貴様と言つ存在を許すつもりは無い！！”
……と、言つ事が？」

ジリ

ミヤ

「……………」。

カチャ

教えてやろつ……………。

殺人と言つ、その言葉の意味を！！

ハッ！

ナージャー

「出来るか！貴様に！！」

ドクター！

ザッ！

ウーノ

「援護します！！」

スッ

スパイダーレイ！セットアップ！！

カシャン！！

ナージャー

「フッ、本来ならば……。」

手を出すな！と、言う所だが……。」

イイだろう!!

悪魔王の側近らしく……。

バサアアアアアアアア!!

付いて来るがいい!!!!

Episode 4：ストーリー12【付近のアグスタ・ミリオネア】

ホテル・アグスタ、付近

ザッ！

久しぶりなのかな？

ドクン……！

スバル

「な！？」

クイント

「フフッ」

母さん！？

ティアナ

「母さん？でもスバル……。」

うん……。

スバル

「あの日、あの時、確かにゼスト隊に出かけて……。」

ぴんぽん

エリオ

「はい！偽者！！」

クイント

「ぶっぶっ！！」

ぴんぽん

キャロ

「はい！クローン！！」

クイント

「お！違い！！」

じゃあ！

ティアナ

「正解は!？」

ドン!

クイント

「次週にて!?!?!」

続く

え!?

スバル

「続くの!?!」

Episode 4：ストーリー13【母と、そのコドモたち】

ホテル・アグスタ、付近

スバル

「アストレイギュラーズ？」

そう！！

クイント

「だからね？確かに私は一度死んだ……。」

じゃあ！！

スバル

「何で敵側に……。！」

それは……。

バッ！

あたしの母さん、でもあるからなー！

ギイイイイイインー！

ノーヴェ

「食らえ！このノーヴェの“IS”！」

ゴオッ！

ジェットエッジー！

ドカン！

スバル

「くう……！」

ザザアアアア……。

へっ！

ノーヴェ

「この程度は、受け切ってもらわないとな〜」……。
「な？スバ姉！！」

え！？

ティアナ

「スバル！アンタ妹いたの！？」

ぐっ……！

スバル

「う、ううん……？」

あ、あたしとギン姉だけ……。」「

貴方は？

フフン！

ノーヴェ

「あたしはクイント母さんの娘にして……。」「
クライウルブズ及び、N2Rの……。」「

ノーヴェ・ナカジマだ！！

Episode 4：ストーリー14「炎の魔剣」対「真紅の魔槍」のアド

ホテル・アグスタ、上空

ガキイイイン！！

シグナム

「くっ……！」

ザッ！

フウ……。

そんなんじゃあ……。

チャキ！

シグナム

「……。」

任せる事は出来ないな……。

時空管理局、そしてこの世界の行く末……。

バツ！

ゼスト

「その役目……この“ゼスト・グランツ”が、見極めさせてもらう
！！」

ゼスト！？

シグナム

「前に、時空管理局にいた……。」

そう！

ゼスト

「お前の先輩……何だな？コレが！」

ジャキ！！

シグナム

「何故？何故反乱を……隊長！！」

フフッ

ゼスト

「敬意を払って隊長か……だか……！」

スッ

しかしソイツは、この真紅の魔槍を破ってからに

さあ……。

ゴオッ！

ゼスト

「覚悟しな……！！」

Episode 4：ストーリー15【格闘のアレコレ】

ホテル・アグスタ、数キロ先

さうて、殺ろうか

ウーノ

「昨日の格闘ゲーム……。
カプコンvsSNKから、ですね？」

ああ……。

ナージャー

「私のベガが……。！」

ギリ！

じゃあさあー！

バッ！

ミヤ

「直ぐに楽にしてやる!!」

チャキ

ナージャー

「フツ、同じ事を……。」

ド・ク・ン

ナージャー

「む!？」

バッ!!

ミヤ

「な!？」

スカッ!!

ナージャー

「ウーノ!!」

はい！

シュバー！

ミヤ

「糸！？」

ギリギリ

ナージャー
「フッ」

貴様……。

ミヤ

「勘だけで！！」

まあ……。

ナージャー

「取り分け、“うち”の奴等にも……“目”を使つヤツが、いるかな。」

ウーノ

「これで、ゲームセットです。」

チッ！

ミヤ

「ナメるな！！」

トレース・オン！！

カシャンカシャンカシャンカシャンカシャンカシャンカシ
ヤンカシャンカシャンカシャンカシャンカシャンカシヤン

な！？

ウーノ

「空中に、剣を！！」

ハアーッハッハッハッハッハア！！

ナージャー

「そつで無くてはな？」

本日二度目の……。

ミヤ

「サーティワン・フルンディングー!!」

だか……………。

ナージャー

「遅い!!」

Episode 4：ストーリー16【破壊のサイセイ】

ホテル・アグスタ、????

ゆゝきや混沌、あられで滅殺

ブッコロ！ブッコロ！しまくりザンスゝゝ！！

ヒヤッハー！！

さあさあさあゝゝ祭りだ祭りだあああああ！！！！！！

数キロ先

ナージャー

「まあまあだつたな？兄弟……。」

ゴオッ！

ミヤ

「ぐぐー！！」

ドシューウウウウ………！

ドゴオオオオオオオオオン！！

ウーノ

「ド、ドクター！？」

破壊………再生。

ミヤ

「え………？」

チラッ

スコープアイの女

「“ナハト”………正常に起動。」

ね

ミヤ

「姉さん……？」

我が名

バスター

「バスター……。」

静寂……秩序……再生。

Episode 4：ストーリー17【仕返しのバイガエシ】

ホテル・アグスタ、数キロ先

ぐっ……。

ナージャー

「いったいね……ジェイルのままだったら、一発昇天だったね！」

タッタッタッタッ！

ウーノ

「大丈夫ですか!？」

まあ……。

ナージャー

「五割六割……と、言った所か。」

ガチャ

バスター

「ハンティング……再発射……始まり。」

ドシュウ！

ナージャー

「流石に。」

バツ！

ウーノ

「二回目は、ないですね？」

バツ！

バスター

「連続……輪廻。」

ザッ！

ナージャー

「させると思つかー!!」

バサアアアアアアアア！！

エクスヴェルグ・アヴェスター！！

ギオオオオオオオオオオオオン！！！！！！

ドクン！

ブシャ！！

バスター

「呪撃……因果。」

ドクター

ウーノ

「アレは……？」

ビッ！

説明しよう!!

ナージャー

「ヴェルグ・アヴェスター」……。
能力は、食らったダメージを返すカウンターモノ。」

ただし

ナージャー

“一人の相手に一度だけの使用である事”で、“術者の生存”と
言う役立たず。」

な・の・だ・が

キラン

ウーノ

「ルナデルタクロス」……ですね？」

ククク

ナージャー

「そうだ！コイツで、“チャージ”する事でその二つを取っ払った上に、倍にして返す！！」

まさに……。

バサアアアアアアアア！！

やったらやり返す、だ！！

Episode 4：ストーリー18【副隊長、そしてそのツイゲキシャ】

ホテル・アグスタ、付近

ガキイイイン！！

ザッ！

ヴィータ

「テメー！！」

ティアナ

「あ！？」

スバル

「ヴィータ副隊長！！」

ギイン

レッドA

「……。」

ヒュウウウウウウ……。

エリオ

「アレは……。」

キラ

「ミヤさん？」

フウ……。

クイント

「ヤッパリ出てきた。」

ずい

ノーヴエ

「母さんが、出るまでもねえ……。」

あ！？

クイント

「ノーヴェー!!」

ダッ

ジェットエッジで……!!

ギイイイイイイン

ぶっ飛ばす!!

バツ!

レッドB

「フォーメーション。」

ドシュウ!ドシュウ!

ノーヴェ

「な!?!」

クイント

「伏兵……！」

だから言ったのに……！！

クイント

「パワーウェイブ！」

ドカ！

ドシュウ！

クイント

「もう一回！」

ドカ！

ドシュウ！

ドカン！ドカン！

Episode 4：ストーリー19【休戦による、そのソウエン】

ホテル・アグスタ、付近

ゴオッ！

レッドA

「フォーメーション失敗、攻撃続行。」

チッ！

ヴィータ

「ミヤと似た様な顔……。」

してんじゃねー！！

ガキイイイン！！

レッドB

「フォーメーション失敗、了解続行。」

干将・莫耶、トレース・オン

カシャン!!

クイント

「下がらない!!」

でも

ノーヴェ

「母さん……」

おずおず

クイント

「……」

う……。

ノーヴェ

「はい……」

ガチャ

エリオ

「とりあえず……。」

ザッ

キャロ

「休戦ですね？」

フリードリヒ

「ガオオオオオオン!!」

フフッ

クイント

「いい子達ね！」

レッドB

「増援発令。」

パチン

バババババ

レツドC

「認証確認。」
└

レツドD

「認証確認。」
└

レツドE

「認証確認。」
└

レツドF

「認証確認。」
└

レツドG

「認証確認。」
└

げ！！

ティアナ

「増えた!？」

スバル

「母さん!！」

解ってるわ……。

クイント

「みんな!」

バツ!

付いて来なさい!!

はい!!

Episode 4：ストーリー20【死棘のゲイボルク】

ホテル・アグスタ、上空

ガチャ！

シグナム

「シャドー・ガンナー！！」

ドドドドドドドドドドドドドドドド

当たれば……。

グイ！

ゼスト

「痛いぞー！！」

ドラゴショットー！！

ドシューウ！ドシューウ！ドシューウ！

ドカン！ドカン！ドカン！

オオオオオオオ……………。

シグナム

「はああああああー！！」

ゴォッ！

アンタの心臓、頂くんだなー……………。

ゼスト

「コレがー！！」

ヴオオオオオオン……………。

シグナム

「魔力を！？」

君のハートに……………。

ザッ!!

ゲイ!!

ヒュッ!!

ボルク!!!!

ギオオオオオオオオオオオ!!!!

シグナム

「イリユージョン・シール……!」

バッ!

ドスウ!!!!

Episode 4：ストーリー21【試練のハジマリ】

ホテル・アグスタ、上空

機能停止……。

シグナム
「……。」

え？

ズリュッ！

レッド
「……………」

ぐら

ひゅーん……。

自爆起動

ドッカーン!!

ゼスト

「……………」

ウム

ゼスト

（ヤハリ、行動が活発に……。ナージャーの言った道理に、なっ
てしまったな……。）

な……。

シグナム

「何故？」

フム

ゼスト

「お前達には、まだやられてもらって……。」

バッ！

待て！！

シグナム

「何処に行く！！」

チャキ！

フウ……。

次に会うときは……………。

クルッ

ゼスト

「って、ヤツなんだな？」

コレが……………！！

Episode 4：ストーリー22【お医者さんのF・テイル】

ホテル・アグスタ、数キロ先

ググッ

バスター

「戦闘……肅正……続行……再生。」

フムフム

ナージャー

「ヤハリ……この程度では、な。」

バスター

「……。」

ゴオッ！！

ウーノ

「ドクター……！」

ああ……。

ナージャー

「言わんでも、解っている。」

準備は出来ているか？

はい、出来ています。

スッ

私のターン……。

ズバッ

う……。

ミヤ

「F・テイル……か。」

キイイイイイイン

バツ！

ナージャー

「さあ……はじめるぞー！」

はい！

ウーノ

『ドクターー！！』

Episode 4：ストーリー23【戦いのカンサツ】

ホテル・アグスタ、数キロ先

ゴオオオツ！！

ナージャー

「突っ込むか、どう見る？」

はい

ウーノ

『肩の射出口そして、両腕にドリル、ショットガン……。』

ガチャ

バスター

「ギアホーン……断罪。」

ゴオツ！！

バッ！

ナージャー
「っと！」

ザザアアアアア！！

ウーノ

『頭のヒートホーン、完全に接近仕様です。』

はてさて

ナージャー
「どうするか……。」

とりあえず

ウーノ

『こちらにも、突っ込んで見たら、どうでしょうっか？』

まあ……。

ザッ！

ナージャー！

「それも！」

ダッ！！

アリか！！

Episode 4：ストーリー24【同調中のウーノ】

ホテル・アグスタ、数キロ先

ナージャー

「とりあえず。」

ゴオツ！！

バスター

「ドリルステーキ……螺旋。」

ギイイイイイイン！！

ナージャー

「痛いのは、もうやだな。」

スッ

ウーノ

『使えますか？』

フン

ナージャー

「何をバカな事を……。」

元々……。

シュバ!!

私のデバイスだ!!

回避……機転。

バツ!

ナージャー

「でしょうね!」

ギイイイイイイン!!

ウーノ
『ドクター……！』

あいよ！

バツ！

クルクルクルクル

ザッ！

ミヤ

「何でわざわざ、ジャンプ回転なんか……。」「

ウーノ

『ツッコまないで下さい！……！』

ガー……！！

敵に……。『

ミヤ

「ツッコまれた。」

スッ！

ナージャー

「天羽々弓、トレース・オン！！」

カシャン！！

ん？

ミヤ

「接近で……弓矢？」

続いて

ナージャー

「フルンディング……。」

ウーノ

『トレース・オン！！』

カシャン!!

って

ナージャー

「私のセリフ……。」

いいじゃないですか

ウーノ

「私だって、言ってみたかったんです。」

ㇿ

Episode 4：ストーリー25【自滅のカクゴ？】

ホテル・アグスタ、数キロ先

バスター

「……………」

ゴオオオツ！！

ナージャー

「……………」

ギリギリ

ドシューウウウウ！！

アレ？

ウーノ

『今回は、言わないんですか？バッド・エンド……………』

「外れた！」

ウーノ

『ドクター、アレも……。』

当然

ナージャー

「想定内だ！！」

バババババババ！！！！

ミヤ

「何を……。」

フツ

ナージャー

「さ・き・ま・わ・り！！」

ザッ！

ギオオオオオオオオオオオオン!!!!!!

ウーノ

『ドクター!?!何を!?!』

ククク……ハッハッハッハッハッハッハア!!!!!!!!!!

Episode 4：ストーリー26【やり過ぎのナージャー】

ホテル・アグスタ、数キロ先

ドッゴオオオオオオオオオオオン！！！！！！

自分の放った……。

ミヤ

「フルンディングを食らった！！！！？？？」

自滅

バスター

「ヤハリ、お前達には……世界を……。」

ノヴァフルンディング……。

ドシュウウウウウウウウウウウウウウ！！！！！！

ナージャー

「バッド・エンド・クラッシュ!!!!」

ゴオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオ!!!!!!

ドゴオオオオオオオオオオオオ!!

バスター

「秩序……亀裂……。」

ウーノ

『敵は、動揺している模様。』

シャッ!!

ナージャー

「じゃんじゃん、行くぜ~~~~~!!!!」

ゴオオオオツ!!

ドカン!

ナージャー

「次は右から……！」

ゴオオオツ！！

ドカン！

ウーノ

『次は左側からです！』

ゴオオオツ！！

ドカン！

まさか……！

ミヤ

「フルンディングでの、体当たりか！？」

そう！！

ナージャー

「その道理だ!!」

ドカン!ドカン!

では

ウーノ

『私が変わりに説明します!!』

ドカン!ドカン!ドカン!

チャウチャウ

ナージャー

「そう言う時は……“説明しよう!!”、だ!!」

ドカン!ドカン!ドカン!ドカン!

そうゆうモノのですか?

ドカン！ドカン！ドカン！ドカン！ドカン！

そつゆうモノなのさ！！

ドカン！ドカン！ドカン！ドカン！ドカン！ドカン！

ミヤ

「あ……………」

ドカン！

ヒュウウウウウウウン……………。

バスター

「……………」

ドシャアアアアアア！！！！

シュウウウウ……………。

シュタツ!!

ナージャー

「あ……………」

オレと

ミヤ

「同じリアクションだ。」

ドクター!?

ウーノ

『やり過ぎです!!--!』

むっ……。

ナージャー

「ヤッパ、やり過ぎっ。」

Episode 4：ストーリー27【混沌のタクヲミ】

ホテル・アグスタ、????

ヴォーン！

リップー

「おやおや〜？やられちゃった……かな？」

フウ……。

リップー

「しゃな〜無いな〜……じゃあ、倍プッシュだねー！」

そ〜れ

死んじゃうつもの、ポチっとな〜……。――。

ポチッ

プシュー

さあー!!

リッパー

「ご主人様……行ってらっしゃいませってな〜!!」

シーン……。

げえ〜……。

リッパー

「自分でやっていて、気持ち悪くなった……。」

ガチャ

では、僕は彼処に行けば……。

ほい

リッパー

「頑張ってね〜……?」

コオオオオオ……。

ギユウウウウン……。

恭・也・く・ん？

ヒャーッハッハッハッハッハア！！

Episode 4：ストーリー28【彼等のチカラ】

ホテル・アグスタ、付近

ガンガン！

ザッ！

ティアナ

「スバル！！」

はああああああ！！

ドゴォン！！

スバル

「ぶち抜け！！！」

デИБァインバスター！！！！！！

ドシューウウウウウ！！！！！！

レッドD

「自爆起動。」

エリオ

「させるか!!」

お願い!

キャロ

「フリード!!」

バッサバッサ!!

フリードリヒ

「ガオオオオオオオオオオオン!!」

ぼっ……!

ゴオオオオオオオオオオオオオオオオオオ!!!!!!

バチバチ

エリオくん!!

解った!!

エリオ

「ストラータ!!」

ストラータ

『イエス! マスター!!』

ガシャン! ガシャン!

カートリッジ……。

エリオ

「よし!!」

いっけえええええええ!!!!!!

ドスウウ!!

レツドD

「起……動。」

うおおおおおおお!!!!

ストラータ

『モード2!!』

ガシヤンガシヤンガシヤン!!

ゴオツ!ゴオオオオオオオオ!!

エリオ

「バッド・エンド……!!」

ダアアアアアアッシュウ!!!!

Episode 4：ストーリー28【彼等のチカラ】（後書き）

アカギか!!

って、思えるホテルアグスタ編も、もうちょい……。

自分でも、思うが異常に長い。

フウ……。

これは、Episode 4が始まって、現在までのストーリーの総合です。

Episode 4：ストーリー28【姉妹、そのソックリサニテ】

ホテル・アグスタ、付近

バツ！

クイント

「レディ？」

ゴォッ！！

バーンナッゴォ！！

ドゴォッ！！

レッドG

「機能停止。」

ドサッ

此処で……。

レッド

「自爆……。」

ガシッ

クイント

「されちゃあゝ……!!」

ブン!!

困るのよ!!……!!

ヒュウウウウウウウ……。

ドッカーン……。

クイント

「フウ……コレで、一通りっ」

うん!!

スバル・ノーヴェ

「そうだよ？ 母さん！！」

……。

シーン

スバル

「何よ。」

ズイ！

ノーヴェ

「何さ。」

ズズイ！

キャロ

「わあ～～……。」

エリオ

「流石姉妹。」

ホント

ティアナ

「似てるわね？」

な！？

スバル・ノーヴェ

「似てない！！！！！」

が~~~~~！！

キャロ

「……。」

エリオ

「あれ？」

ティアナ

「フウ……。」

似てるじゃん

クイント

「ア、アハハハ。」

Episode 4:ストーリー30【天空からのシシャ】

ホテル・アグスタ付近、上空

はあはあ……！

チツ！

ヴィータ

「何体居やる！！」

グラブファイズン

「今の、30体目です!!」

レッシュド

「増援発令。」

パチン

[illegible]

ダ、ダメだよ～～！行きなり、発射しちゃったら～～！！

え～～？だって、明らかにピンチだったよ～～？

ヴィータ

「あ！お前らは！？」

ミヤも女の子一人、守れないなんて……後でちゃんと、注意しなきゃ！コレも、お姉ちゃんの勤め！！

うんうん

はあ……ミヤも、大変だよ……。……僕もその辺には、負けてないけど……。

やれやれ

ヴィータ

「ユーノ！そしてミヤの姉！！」

Episode 4：ストーリー31【鉄槌と閃光と孤狼のダンワ】

ホテル・アグスタ付近、上空

僕の名前は、ショット・レイター

閃光のとき、射る者だ！！

日向

「……………」

ヴィータ

「……………」

ピピッ

ショット・レイターについて

「ある無限書庫の番人が変装した姿、謎？に包まれている。
レイターとは、“光弓シルヴァンボウ”からの由来である。

以下、格好

頭　　竜の骸骨マスク（全然隠れてない）

テイルズのジューダスから

上下　　白騎士（ド派手）

テイルズのアスベルから」

で……。

ヴィータ

「ユーノどうして、こんな所に？」

ちが！？

レイター

「僕の名前はショット・レイター……！」

やっぱり

日向

「バレバレだよね〜……。」

あ！そうそう、どうしてってのは……。」

……ギョオオオオオ

……二人ともいたか！私は先に……。

オオオオオオン……。

な！？

ヴィータ

「何だ！今の！！」

あ〜

ライター

「兄貴だ。」

うん！

日向

「兄貴ね！」

あ

ヴィータ

「兄貴？」

バツ！

レイター・日向

「そう！！」

ゲンヤ兄貴！！

Episode 4：ストーリー32【常に先を行こうとする、そのモノ】

ホテル・アグスタ、付近

パチン！

レッド

「承認確認。」

な！？

ティアナ

「まだいた……！！」

キャロ

「う……。」「

フリードリヒ

「きゅるる……。」「

エリオ

「さっきので……。力を……。」「

レッド

「防御……。」

ヒュウウウウウウン！！！！

フン！

襟立てグラサンの男

「遅い！遅い！遅い！遅い！

それでは、時代に〜次世代に〜次回予告に〜！！」

乗り遅れるぞおおおお〜！！

ゴオツ！！

襟立てグラサンの男

「走れ！走れ！！走れ！！！！オレの足！！！！！！」

シエエエエエエルエエエエエエンプ！！！！！！

クイント

「貴方!!」

え!?

スバル

「父さん!!」

ノーヴェ

「あれが……父さん……。」

フツ

ゲンヤ

「久しぶりだな? クラスメイト。」

って

クイント

「クイントです!!」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4550x/>

元神魔王リリカルなのは外伝《デルタソウルダイバーズ》Episode 4 生

2011年11月12日11時36分発行